

**開館時間** 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

**休館日** 原則として、月曜日、祝日、年末年始(12月28日～1月4日)

プラネタリウム休演日 7月6日(火)～8日(木)

宇宙劇場休演日 6月15日(火)、16日(水)

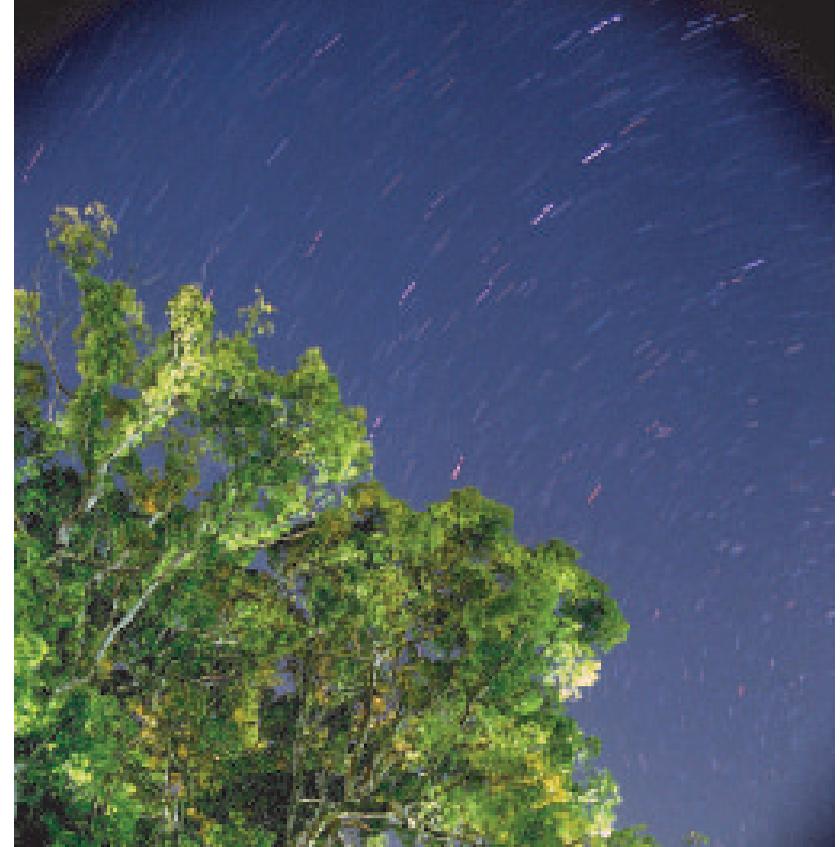
**入場料**

区分 / 金額	個人	団体 (20人以上)	
展示室	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生、高校生)	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生、高校生)	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生、高校生)	200円	160円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円	480円
	こども (小・中学生、高校生)	300円	240円

**宇宙劇場放映開始時刻**

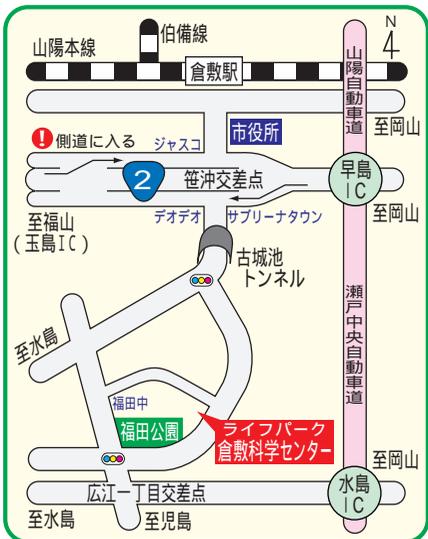
曜日/時刻	10:00	11:10	12:20	13:30	14:40	15:50
火～金	学習放映 (団体予約優先)	学習放映 (団体予約優先)		学習放映 (団体予約優先)	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

定員210名、各回入れ替え制。放映中の入退場はご遠慮ください。  
 学習放映は団体予約優先の放映です。団体でご利用の場合は、あらかじめお電話で  
 ご予約ください。  
 学習放映の番組は幼児用、小学生用(低学年、4年生、高学年)、中学生用を用意  
 しています。  
 小・中学校及び幼稚園等の春・夏・冬休み期間中は、火～金曜日、土・日曜日と  
 同じ放映スケジュールとなります。



宇宙劇場 プラネタリウム

# PLANETARIUM



## ACCESS

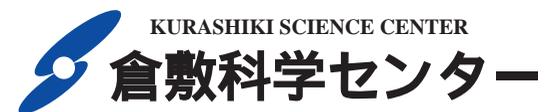
- J R 倉敷駅からタクシー 20分
- J R 倉敷駅からバス 25分
- 下電バス
- 『ライフパーク倉敷行』 終点下車
- 『市役所・古城池経由 J R 児島駅行』  
ライフパーク倉敷入口下車
- 『市役所・古城池経由 広江団地行』  
ライフパーク倉敷下車
- 『大高経由 J R 児島駅行』  
福田中学校前下車 (徒歩15分)
- 国道2号線 笹沖交差点から車で15分  
(古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- 瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分  
(広江一丁目交差点を右折後、最初の信号を右折)

**倉敷科学センター**  
 〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷  
 TEL (086)454-0300 / FAX (086)454-0305  
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>

放映の話題 (今夜の星空解説含む)

う ちゅう なが  
**宇宙の流れのなかで**  
 おお かた う ちゅう れき し  
 ~大クスが語る宇宙の歴史~

Vol. 34 2004. 2. 27 ~ 2004. 7. 4



# 宇宙の流れのなかで

～大クスが語る宇宙の歴史～

上映期間 / 2月27日(金)～7月4日(日)

夜空に輝く無数の星々。そして、宇宙のはるか彼方まで延々と続く銀河の世界。この宇宙は一体どこまで広がっているんだろう……。

拓也は最近、寝る前に宇宙のことをよく考える。自分が死んでも、人間がいなくなっても、この宇宙は永遠に続くんだろうか？ だとしたら、宇宙と人間は全然関係ないんだろうか……。なんとなく不安でしかたがない拓也に、ある夜、クスノキの大木が語りかけてきます。

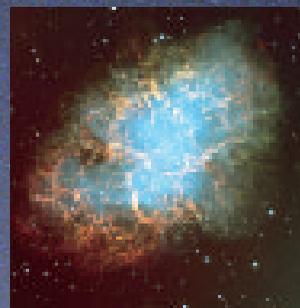
それは、宇宙と人間とのつながりの物語でした —

## わたしたちは星のかけら……

私たちの体は、水素、酸素、炭素、ちっ素など、さまざまな元素からできています。これらの元素は、どこで、どのようにして作られたのでしょうか？

いまからおよそ150億年前、ビッグバンという大爆発で始まった宇宙は、膨張しながら次第に冷え、やがて水素とヘリウムを作りだしました。それらが集まって星が生まれると、今度は星の内部で、炭素、ちっ素、酸素、マグネシウム、ケイ素など、鉄までの重い元素が、核融合反応の燃えかすとして作られます。そして大きな星は、その一生の最期に超新星爆発という大爆発を起こし、それらを宇宙にばらまくのです。爆発の瞬間には、そのすさまじい温度と圧力で、銀、金、鉛、ウランなど、鉄よりも重いさまざまな元素も作られ、飛び散っていきます。こうして星が死ぬたびに、最初は水素とヘリウムしかなかった宇宙に、さまざまな元素が加えられていきました。そしてそれらを集めて、いまからおよそ50億年前、太陽系は生まれたのです。

私たちの体を作っている元素も、もとをたどれば、遠い昔にどこかの星が作って、その死とともに宇宙にばらまいてくれたものです。つまり、私たちは星のかけらでできているのです。そして、人間だけでなく、どんな生き物も、草や木も、さらに土や石にいたるまで、宇宙150億年の物質の流れのなかで生まれ、いまここに存在しているといえるのです。



おうし座にある『カニ星雲』  
1054年に現れた超新星爆発の残がい。星を作っていたガスが秒速2千キロメートルの猛スピードで吹き飛ばされつつある。



へび座にある『わし星雲』  
明るく輝く星雲の中に、ガスとチリからできた巨大な柱がある。この中では、いままさに新しい星が生まれつつある。